

Livio AI / Livio

初回フィッティング手順



適用器種 Livio AI : RIC312, micro RIC312, BTE13
Livio : RIC312, micro RIC312, BTE13

接続開始

- 1 Apple / Android 端末の Bluetooth をオフにします。
- 2 Inspire™ X を立ち上げ、補聴器に電池を入れます。
- 3 接続開始画面で「補聴器と接続」を選び「プログラム装置表示」をクリックします。2.4 GHz ワイヤレスプログラマーを選択して「OK」をクリックします。
注: 無線プログラミングの操作可能な範囲は約10mです。補聴器が検出されない場合は、補聴器の電源を一旦切って入れ直してからリフレッシュ (再読み込み) をクリックしてください。
- 4 接続する補聴器 (耳側) の横にある **チェックボックス** を有効にします。
- 5 新しいフィッティングセッションの開始、または現在の補聴器設定を基にして調整を行う際には、「補聴器の読み込み」を選択します。過去のフィッティングセッションのデータを呼び出すには「履歴の読み出し」を選択し、「開始」をクリックします。

初期フィットとオートパス

新しい補聴器をプログラミングする時は、初期フィットが自動的に立ち上がります。

- 1 適切な「音響オプション」を選択して「OK」をクリックします。
- 2 適切な「補聴器の経験」を選択します。[図1]
- 3 補聴器をお客様の耳に装着し、全てのノイズ源を減らしてから「開始」をクリックしてオートパスを実行します。
注: お客様が来る前に補聴器のプログラミングを行った場合は、後からお客様の耳に装着した状態でフィードバックキャンセラーを再度行ってください。
- 4 オートパスの結果を画面で確認します。結果がどこかのステップで不完全な場合には「再度開始」を選びます。それ以外の場合は「閉じる」をクリックして先に進みます。



図 1

ユーザーコントロール

初回のプログラミングの時には、ユーザーコントロールの画面でデモボックスが表示されます。ユーザーコントロールの設定オプションの「デモを見る」を表示させるか、「再表示しない」を選択して「閉じる」でウィンドウを閉じます。

- 1 有効にする「ユーザーコントロール」を左から選んで、右(赤)または左(青)の枠の中にドラッグ&ドロップします。ユーザーコントロール機能には、補聴器の音量、メモリー、耳鳴治療音レベル、ミュート、アクセサリーの作動/停止、アクセサリーの音量、手動転倒通知、Thriveアシスタントが含まれます。ユーザーコントロールの操作には、短押し、長押し、ダブルタップがあります。[図2]

注：ダブルタップによるアクセサリーの作動/停止は Livio AI でのみ有効です。

注：耳鳴治療音レベルがユーザーコントロールで有効に設定されても、耳鳴治療音が本体に設定されていない場合、警告アイコン①が表示されます。



図 2

- 2 「VC範囲とステップサイズ」をクリックします。VCマークにカーソルを置いてVC範囲を調整し、「ステップサイズ」は2dBと4dBから選択します。

注：Inspireでは、ユーザーコントロール設定で音量調節が有効になっていない時にはVC範囲とステップサイズの調整はできません。

クイックフィットとファインチューニング

- 1 左側ナビゲーションバーにある「クイックフィット」を選択して**全体的な調整(こもり感、低周波数、全体ゲイン、高周波数、最大出力)**を行います。[図3]
- 2 メモリーを設定するには、メモリーバーの**メモリードロップダウン**をクリックします。
- 3 左側ナビゲーションバーにある「ファインチューニング」またはクイックフィット画面の下にあるファインチューニングをクリックします。
- 4 調整のための表示方法を「**テーブル表示**」または「**スライダー表示**」から選びます。
- 5 「**低域**」、「**中域**」、「**高域**」、「**超高域**」のチャンネルグループを拡張表示させるには+をクリックします。
- 6 調整したいチャンネルと入力レベルの枠をクリック選択してから「**上下の矢印**」でクリックして調整します。

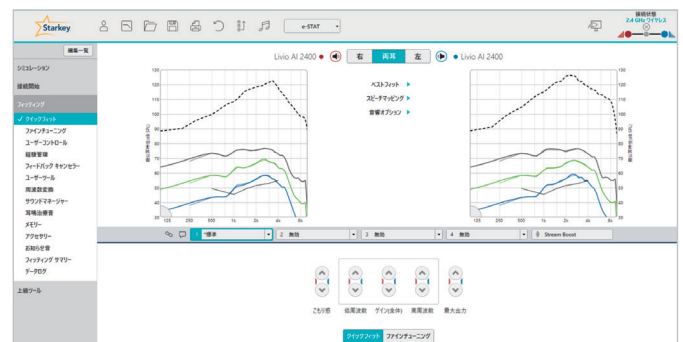


図 3

セルフチェック

- 1 左側ナビゲーションバーの「ユーザーツール」を選択します。
 - 2 補聴器のレシーバーを上向きにして平面に置きます。
 - 3 周囲の雑音を可能な限り無くします。
 - 4 「**基準設定**」をクリックして開始します。
 - 5 各補聴器から測定のための強大な提示音が流れます。
 - 6 各補聴器のチェック項目に緑色のチェックマークが入ったら、基準が確立されたことを示します。
- 追加の詳細情報は
「セルフチェック (QuickTIP)」を参照してください

追加の調整項目

サウンドマネージャー、耳鳴治療音、周波数変換等の機能については各QuickTIPを参照してください。

メモリーとスピーチお知らせ音

左側ナビゲーションバー、またはすべての調整画面の中央にある「メモリー」を選択します。

- 1 **ドロップダウン**を選択し「メモリー」メニューを拡張し、設定したいメモリーを選びます。
- 2 **音楽メモリー**を設定する時は、「音楽メモリー (Quick-TIP)」を参照してください。
- 3 メモリーバーは、選択されている環境 (例えば屋外) を表示するのがデフォルト設定です。「吹き出し」を選択して、画面を設定したスピーチお知らせ音 (例えば屋外メモリーは「ゴルフ」など) に切り替えられます。 [図4]



図 4

アクセサリー

左のナビゲーションバーにある「アクセサリー」を選択し、補聴器に接続可能なアクセサリーの設定を行います。

情報アイコン ⓘ をクリックすると、各アクセサリーと補聴器とのペアリング手順が表示されます。ペアリングが完了したら、ストリーミングアクセサリー (TVストリーマー、リモートマイク+, ミニマイクなど) からの**ストリーミング中の補聴器マイク**を調整します。Thriveリモコンは、**お気に入りボタン**の設定を行ってください。 [図5]

注: ストリーミング中の補聴器マイク設定は、iOS端末へのストリーミングにも適用されます。

詳細情報は各アクセサリーのQuickTIPを参照してください。

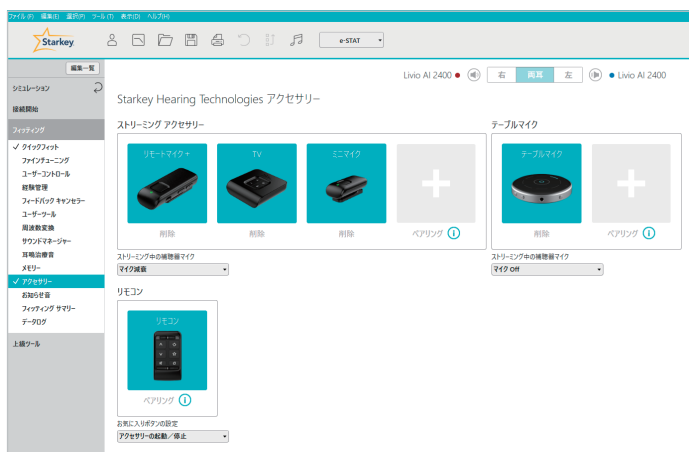


図 5

お知らせ音

左のナビゲーションバーから「お知らせ音」を選びます。

- 1 **チェックボックス**を選択する、または選択しないことで、お知らせ音の有効/無効が設定できます。
注: 音量のお知らせ音は最大や最小など個別に有効/無効の設定が可能です。
- 2 「**すべてのお知らせ音を調整**」を選択すると、すべてのトーン (チャイムを含む)、スピーチお知らせ音の音量を5dB刻みでの増減することや、スピーチお知らせ音の言語の変更ができます。

- 3 「**個別にお知らせ音を調整**」を選択すると、個別に音量の調節や音のタイプを選択することができます。デモの補聴器のマークを選択すると、補聴器からのお知らせ音が再生でき、コンピューターマークを選択するとスピーカー再生することができます。

4 環境メモリーごとのスピーチお知らせ音を設定するには、「メモリー/ホーム」を選択します。メモリーが有効になると、デフォルトのお知らせ音は選択された環境に一致します(たとえば、屋外メモリーに切り替えると、お客様には「屋外」と聞こえます)。

スピーチお知らせ音を変更するには、「音源」の下のドロップダウンをクリックします(たとえば、屋外メモリーに切り替えると、お客様には「ゴルフ」と聞こえるようになります)。

[図6]



図 6

注: カスタムメモリーやストリームブーストのお知らせ音を無効にすることもできます。

フィッティングサマリー

左側のナビゲーションバーにある「フィッティングサマリー」を選択します。[図7]

「詳細」をクリックすると、各機能の調整画面に誘導され必要に応じて簡単に調整することができます

ステータスの下にある「リモートプログラミング」をクリックすると、遠隔調整機能が有効になります。リモートプログラミングの横にある「チェックボックス」をクリックしてください。次にお客様(装用者)と一緒に開示に関する注意事項(リモートプログラミングに関するユーザー同意書)を確認した後に、「承諾」をクリックします。次に、コード生成アイコンをクリックして、お客様がThriveアプリから遠隔調整依頼できるようにするための、お客様固有の暗証コードを生成します。

[図8]



図 7

ステータスの下にある「自動転倒通知」を選択して転倒検知感度の変更や、この機能が推奨されるお客様かどうか確認することができます。転倒通知の設定と使用方法に関する詳細は、「転倒検出通知(QuickTIP)」を参照してください。自動転倒通知はLivio AI補聴器でのみ利用可能です。

[図9]

ステータスの下にある「自動On/Off」を選択して、補聴器を使用していない時に、補聴器が自動的にスリープモード(休止状態)になるように設定できます。この機能はLivio AIのみ対応しています。

「印刷」を選択すると、フィッティングレポート、データログレポート、または設定された音量調節、メモリー、スピーチお知らせ音などを記載したお客様にお渡しできるデバイスガイドが作成されます。デバイスガイドは、印刷言語で多言語から選択でき翻訳を出力することができます。



図 8



図 9